

令和3年度

開拓精神 No. 9



小中一貫校交流

11月24日(水)に「小中一貫校交流」が行われました。宮川小と金沢小の6年生が長峰中に来校し、校舎巡りと中学校の授業体験をしました。まず最初は、宮川小と金沢小のみなさんが一緒になったグループ毎に校舎巡りをしました。長峰中の職員の案内で、中学生が授業をやっている普通教室や特別教室、図書館、パソコン室、体育館等々校舎の中を一通り巡ってみました。あと数ヶ月経つと長峰中の1年生になるということもあり、小学六年生は興味津々に校舎を見て回り、色々な質問もしてくれました。そして、その後は、宮川小と金沢小の生徒が交じってこの日だけの特別クラスをつくり、中学校



の授業体験をしました。教科担任制と中学校の英語の授業を体験してほしいというねらいの下、20分という短い時間でしたが、英語の授業と理科または社会科の授業をそれぞれ経験しました。初めての経験に緊張しながらも前向きに取り組む様子が印象的でした。

最後に集まったときに、「中学校のことが少しは分かりましたか？」という問いかけに、元気に「はい!」と答えてくれたのが印象的でした。限られた時間ではありましたが、新年度に向けて、大切な一日になりました。

令和4年度 生徒会三役立会演説会 投票

11月25日(木)に、令和4年度の生徒会正副会長を決める立会演説会と投票が行われました。これまで、2年生の各クラスで候補者をきめ出し、学年内の演説会、教室訪問を行ってきました。そして、いよいよ全校が集まったの立会演説会と投票が行われました。

よい緊張感が漂う中、候補者が自分の目指す生徒会の姿、長峰中学校の姿を堂々と述べ、公約について説明をしていきました。聴いていると誰がなっても、きっとよい生徒会のリーダーとなって全校生徒を引っ張ってくれると思える充実した内容でした。また、演説を聴いている生徒の姿は、大変真剣で、これからの長峰中学校の姿を1人ひとりがしっかりと考える時間となりました。



演説会後の投票も整然と静かな落ち着いた雰囲気の中で行えました。この投票と翌日の決選投票によって、新しい正副会長が決定をしました。そして今後、生徒会の引き継ぎが、最終段階へと進んでいきます。いよいよ、これまで全校を引っ張ってきてくれた3年生からのバトンが2年生へと渡ります。3年生からしっかりと引き継ぐものを引き継ぎ、そして、1・2年生が協力し、自分たちらしい生徒会をこれからつくっていつてくれることを期待しています。全校生徒でがんばっていきましょう。

令和4年度生徒会三役 会長：伊藤 心美 男子副会長：篠原 陸玖 女子副会長：赤羽 柚香

PTA講演会 腰塚勇人さん 講演会



12月10日(金)には、PTA講演会として、腰塚勇人さんの講演会「命の授業 ～ドリー夢メーカーと今を生きる～」が行われました。

腰塚さんは、「熱血中学校教師」でしたが、スキー場で首に大けがを負い、一生首から下は動かない、よくて車椅子生活と言われた状況から、奇跡の回復をされ、その経験を基に、今では、「命の授業」を日本全国で行っています。自分が奇跡の回復をすることができたのは、自分を支えてくれた多くの「ドリー夢メーカー」がいたからという経験から、生徒のみなさんはもちろん、会場で一緒に聞いていた保護者の方、職員に向けて、「一つしかない自分の命をどう使います?」と熱く語りかけてくださいました。

お聞きすると、腰塚さんは怪我をする前、神奈川県伊勢原市の中学校にお勤めになっていて、その伊勢原市は、今もそうですが茅野市と姉妹提携をしているので、顧問をしていたバスケット部の生徒と共に夏に茅野市に来て、長峰中学校や市内の中学校でバスケットボールの試合をした

ことがあるそうです。また、けがをしたのは「車山スキー場」ということもあり、しみじみと「縁を感じます、長峰中に来て本当にうれしい」とおっしゃってくださいました。

腰塚さんの話から生徒はたくさんを感じ、考え、あっと言う間の70分間が過ぎていきました。腰塚さんがおっしゃっていたように、ここからが大切です。感じたこと、考えたことを基に、どう「命を使う」のか、そんなことを毎日の生活の中でも意識していきたいですね。



今年度初の読み聞かせ

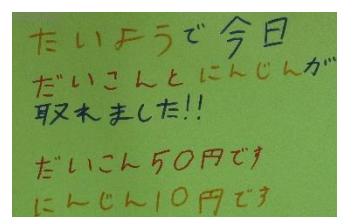
12月15日(水)に今年度初の読み聞かせを行うことができました。同時に「朝読書見学会」も開催しました。「読み聞かせ」はコロナが落ち着いた頃から、生徒の期待する声も上がっていましたが、落ち着いてきたとはいえ、油断せず慎重に進めることを第一とし、他の行事との関連も検討しながら、ここで、行うこととなりました。当日は長峰中学校読み聞かせボランティア「長峰丸」のみなさんにご来校いただき、3年生の教室に入っていたいただき、読み聞かせを行っていただきました。また、長峰中職員も、ボランティアさんの入らないクラスに入り、読み聞かせをしました。



ボランティアさんの素晴らしい読み聞かせに引きつけられ、本の世界にしっかりと浸っている生徒の姿がありました。一人でする読書とはまた違う、本の魅力を感じられたのではないのでしょうか。読み聞かせを終えたボランティアのみなさんからは、長峰中生の姿について「集中して聴いてくれた」「落ち着いた雰囲気伝わってきた」とお褒めの言葉をいただきました。次回は1月19日(水)の予定です。お楽しみに!

たいよう学級 販売活動

夏の懇談会や文化祭に続き、今回の懇談会でも、たいよう学級で育てた野菜や制作した作品を販売させていただきました。たいよう学級の生徒が一生懸命に学習した成果を展示販売させていただきましたが、保護者の方に大変好評で、今回もたくさんお買い上げいただきました。お店で買うよりずっと安く質の高いものが手に入ります。今後も機会を見つけては販売活動を行っていきますので、その際もぜひお願い致します。



後期人権教育強調旬間



12月6日(月)～12月17日(金)が、後期人権強調月間でした。その始まりに当たり、「人権集会として佐伯人権教育主任から話がありました。「ダイバーシティ&インクルージョン」という世界で当たり前になってきている「人権」に対する考え方の説明と共に、私たちが毎日の生活で大切にしていけるべきことについて話がありました。それを受けて、教室に戻ってから自分を振り返り、これからの生活について考えました。旬間



中に学年や学級で人権の授業も行われました。旬間は終わりましたが、ここでの学びを毎日の生活の中で具体的な形にしていきたいと思います。

3年生受験対策模試 始まる



今年度も3年生の受験対策模試が始まりました。これは長峰中学校独自のもので、12月から毎週土曜日を利用して、希望者が参加をして行います。小林進路指導主事を始め、3学年の職員が運営をしております。今年も40名を超える3年生が参加をしています。小林進路指導主事

によると、この模試を利用して毎年多くの生徒が力を伸ばしているとのこと。土曜日の朝から、午前中一杯を使って集中して問題に取り組んでいる3年生の姿は素晴らしいです。進路決定に向けてよいよ大詰め。がんばっていきましょう。

この模試(表向き) 12/18(土)	
国語	8:10～8:50
数学	9:00～9:40
社会	9:50～10:30
理科	10:40～11:20
英語	11:30～12:10

オンライン 台湾交流



12月17日に台湾交流が行われました。昨年度に引き続き、コロナ禍のために実際に現地に行っているのができないため、オンラインで交流を行いました。台湾の五福中学校の生徒のみなさんと長峰中学校の1年生有志のみなさんが画面越しではありますが、自己紹介をし、互いに質問をしようという一回目の交流を行いました。国も違いますし、言葉も違いますが、市役所の方に通訳の支援をしていただきながら、お互いの中学生としての生活についてやりとりをしていると、もっと知りたい、もっと聞きたいという気持ちがどんどんわき上がってくるようでした。今後日程を調整しながらさらに交流を行っていきます。楽しみですね。そして、1日も早く、コロナが収まり実際に現地を訪れての交流をしたいものです。



しめくくりの 生徒総会



12月21日(水)に第2回生徒総会が開かれました。この生徒総会は、ここまで長峰中のリーダーとして生徒会活動の中心を担ってきた3年生から2年生にその役割の引き継ぎが行われるという大切な意味のある総会でもありました。これまでの生徒会活動の報告や反省、会計報告が議題として取り上げられ、その後は、2年生の新役員が全校で紹介されました。そして総会後は、現役員の3年生から新役員の2年生への引き継ぎ会も行われました。



ここまで3年生のみなさん、お疲れ様でした。武居会長を中心とした3年生の素晴らしいリーダーシップで長峰中の生徒会は充実しました。そして、これからは伊藤新会長を中心とした2年生、そして1年生で生徒会活動を進めていきます。3年生は、卒業までまだ時間が残されていますので、後輩にしっかりと大切なことを伝えてください。そして、2年生は最高学年、リーダーとなる力をつけ、1年生は先輩となる準備を進め、3年生が後輩に学校を託して安心して卒業していられるように3月までの時間を過ごしていきましょう。生徒会のがんばりを楽しみにしています。



本日2学期終業式が行われました。各学年の代表生徒による意見発表、校長講話がありました。また終業式に先立ち、県入賞以上の賞状伝達式、県大会・全国大会へと参加するスケート部とアンサンブルコンテスト諏訪大会に参加をする吹奏楽部の壮行会も行われました。校長講話は以下の通りです。

2学期終業式 校長講話

8月20日に始まった2学期が今日で終わります。登校日数は86日間でした。

毎年、日本漢字能力検定協会が一年の世相を表す「今年の漢字」を、京都の清水寺で発表しています。今月の13日に発表がありましたが、選ばれた漢字を知っていますか？「金」です。なぜ、この字が選ばれたのでしょうか。日本漢字能力検定協会は、東京五輪で日本人選手が多数の「金」メダルを取ったことや、大谷翔平選手が大リーグでMVPを獲得、藤井聡太さんの最年少四冠達成など各界で「金」字塔を打ち立てたこと、そして、給付「金」や新紙幣、新硬貨などお「金」にまつわる話も話題に上ったことを理由に挙げています。

実は、「金」が選ばれたのは、今回が初めてではなく、過去に、2000年、2012年、2016年にも選ばれています。これらの年に共通していることは何でしょう。

オリンピックです。オリンピックが開催された年は、日本の選手の活躍が印象に残るのでしょうか。その東京オリンピックが終わってから始まった2学期ですが、9月の下旬まで、茅野市独自で「命と暮らしを救う集中対策期間」が設けられるなど、新型コロナウイルス感染症の拡大が非常に心配される状況でした。そのため、3年生の修学旅行の延期や強歩大会の中止という判断をせざるを得ませんでした。

そのような状況下でしたが、生徒会役員のみなさんや顧問の先生方のご尽力で、アカシア祭を開催することができました。『一致団結 ～輝く未来へ～』というテーマに向かって、全校で、令和3年度でしか行うことのできないアカシア祭を創り上げることができました。十分な練習ができなかったかもしれませんが、11月1日の音楽会では、学級合唱や学年合唱を発表することができました。コロナ禍以前は当たり前前にできていたことが行えなくなっても、嘆いたり、諦めたりするのではなく、「今、何ができるのか」を考え、実行に移してくれたみなさんの姿に感動を覚えました。

新型コロナウイルス感染症については、2学期当初の状況が信じられないくらい落ち着いていますが、新たにオミクロン株の流行等が心配されています。まだまだ、感染症との戦いは続いていくことになりそうですが、引き続き、私たちにできる予防をしていきましょう。

さて、明日からは冬休みです。土・日を含めても13日間という短い休みですが、新たな希望や目標を立てるにはよい機会です。3年生のみなさんは、高校入試を控え、のんびりしてはいただけませんね。自分の計画に沿って、勉強に励んでください。2年生のみなさんは最上級生に、1年生のみなさんは先輩になる心の準備を始めましょう。目先の目標だけでなく、5年後・10年後の「なりたい自分」もイメージできるようになれるといいですね。難しいことだとは思いますが、節目を迎えるこの時期は大きなチャンスです。ご家族や親戚の方と過ごす機会をとおして、そんなことも考えてみてください。年明け1月7日（金）の始業式に、皆さんが明るい笑顔で登校してくれることを楽しみにしています。それではみなさん、よいお年を迎えてください。

今年1年、保護者の皆様におかれましては、本校の教育活動に対しまして、多大なるご理解とご協力を賜りました。お陰様でこうして、今年の最終登校日を迎えることができました。お礼申し上げます。

新年もどうか、本年と変わらぬご支援をいただけますよう、お願い申し上げます。

まだまだ新型コロナウイルス感染症に関わる状況は油断できませんし、新たなものも世界的にはやり始めてもいます。また、本格的な冬もやって参りました。どうかご自愛いただき、よいお年をお迎えください。

生徒の健康に関すること、スクールソーシャルワーカー（SSW）、スクールカウンセラー（SC）への相談等ご希望がありましたら、お気軽に学校までご連絡をお願いします。また、「育ちあいちの」へ相談は随時行えます。ぜひ、ご利用ください。

茅野市立長峰中学校
〒391-0013 茅野市宮川 11288
担当 濱 喜一郎（教頭）
電話 72-4108
FAX 72-4109